

新 RiLineX シリーズ、最大 550A まで対応

配電システム：新開発のコンプリートボードで銅の使用量を 50%削減

Herborn, 31 March 2025.

昨年、リタールは RiLineX プラットフォームシステムにより、電力配線分野の新たな業界標準を確立しました。今回、ハノーバー・メッセにおいて、最大 550A の低電流に対応した RiLineX プラットフォームの新開発のコンプリートボードが発表されました。断面が小さい銅バーは、機械工学など多様なアプリケーションにおいて原材料の使用量とコストを削減します。

RiLineX「Click & Work」システムは、安全な配電システムを迅速に構築可能にし、設計段階で最大 30%、組み立て段階で最大 75% の時間を節約できます。プラットフォームシステムとコンプリートボード、モジュールシステムの組み合わせにより、標準化と高い柔軟性が両立しています。このコンセプトは、販売開始に伴いさらに拡大されます。ハノーバー・メッセでは、システムに新たに追加された完全組み立て基板が紹介され、最大 550 A の定格電流と最大 52.5 kA の耐短絡性能を実現しつつ、銅の使用量を削減しています。最近発表された 800 A までのオプションにおいて、Rittal は最大 65 kA の耐短絡性能を保証しています。すべての完全な基板は、標準の筐体幅 600 mm、800 mm、1,000 mm、1,200mm で利用可能であり、瞬時に構成可能です。

「当社は、最大 800 A の基板と完全に柔軟なモジュール式システムを組み合わせることで、従来の機械工学からエネルギー分野の多様な応用、さらには IT インフラまで、幅広いアプリケーションに対応するソリューションを提供してきました。また、顧客分析から、一部のユーザーが定格電流の全容量を活用していないことが分かっています。定格電流 550 A まで対応可能なボードは、特に機械分野の多くのアプリケーションにおいて十分です。新しい標準化されたボードにより、ユーザーは原材料とコストの両面で大幅な削減を実現できます」と、リタールのエネルギー & パワーソリューション製品管理責任者であるヨルグ・クレイング氏は述べています。

550 アンペアで銅の使用量を削減

この削減は、標準的な銅バーのサイズを小型化することで実現しました。従来の 30 mm × 10 mm の断面形状から、現在は 30 mm × 5 mm に縮小されています。「システムの設計と良好な通気性により、断面が半分になっても指定の定格電流と高い耐短絡性能を保証でき

ます」とクレリング氏は説明しています。これにより、コストの高い原材料である銅の使用量が大幅に削減されます。

プラットフォームのシステム上の利点（アタッチメント設計が不要、IP 2XB または IP 4X の接触保護、全体の長さにおいて完全に構成可能など）は、新しいオプションにも適用されます。ボードは、筐体内で水平、垂直、および天井取り付けが可能です。必要に応じて、適切な連結コネクタをととても簡単に組み合わせて、より長いシステムを構成できます。これは、単一の筐体内だけでなく、複数の盤間でも機能します。ここでも、プラットフォームシステムの高度な設計が明らかです：ボードの側面のエンドキャップを取り外し、数ステップの作業で連結が可能です。

バスバー別売のモジュール式システム

ユーザー様にさらに高い製品選定の柔軟性を提供するため、RiLineX はバスバーを内装しないモジュール式キットとしても、バスバーと別々に販売しております。これにより、バスバーのような重い金属部品を同時に輸送する必要がなく、バスバーは現地調達ができ、ユーザー様は定格電流 800 A まで対応可能な設計の自由度を享受できます。205 mm から 2,400 mm までの長さのボードは、モジュール式システムで容易にカスタマイズ可能です。ベーストレイは、標準的な銅、アルミニウムに銅コーティングした Cuponal バスバーをさまざまな断面形状で対応可能に設計されており、現場での使用時に改造が不要です。バスバーは単に長さに合わせて切断するだけです。異なる定格電流と金属に対応するプラスチック部品（モジュラーボード）は同一です。このよく考えられた設計は、部品点数を削減するだけでなく、すべてのバリエーションで機械設計と組み立てが同一となるため、ユーザーの作業負担を軽減します。



RiLineX システムは、最大定格電流 550 A のオプションを新たに追加しました。断面が小さい銅棒は、機械工学を含むさまざまなアプリケーションにおいて原材料の使用量を削減し、コストを低減します。

May be reproduced free of charge. Please name Rittal GmbH & Co. KG as the source.

Rittal

リタールは、エンクロージャシステム、オートメーション、インフラストラクチャにおいて、産業、IT、エネルギーおよび分電、配電、温度管理、サービス部門を含む分野でグローバルなリーディングサプライヤーです。リタールの製品とソリューションは、世界中の産業の 90% 以上で使用されており、標準化されたものからカスタマイズされたものまで、常に最高の品質で提供しています。

アプローチと方法論: リタール、リタール・ソフトウェア・システムズ (Eplan、Gideon、German Edge Cloud)、リタール・オートメーション・システムズ (RAS、Ehrt、Alfra) は、ハードウェアとソフトウェアの専門知識を結集し、制御盤やスイッチギアの製造、機械製造から工場運営やエネルギー分野に至るまで、お客様の価値連鎖全体を効率化、最適化、デジタル化します。

納品保証: リタールの標準製品は、ドイツ国内で 24 時間以内、ヨーロッパ全域で 48 時間以内に納品されます。(日本国内についてはお問い合わせください)

顧客志向

オートメーションとデジタル化を通じて効率を改善し、生産性を向上させることは、お客様にとって最大の課題のひとつです。これには、深い知識と専門知識、ハードウェアとソフトウェアの組み合わせ、そして業界を超えたネットワーキングが必要です。データルームを作成し接続することが、産業変革の成功において重要であると確信し、これこそが私たちの専門であり、得意とする分野です。

Eplan とリタールは、デジタルオートメーションツインの開発を推進し、データをオペレーションにおいてもアクセス可能かつ利用可能にしています。Gideon は、CAD/CAM、PDM/PLM、製品構成の専門知識を活用し、デジタルプロダクトツインのシーンにおけるデータの一貫性を向上させています。German Edge Cloud の ONCITE Digital Production System (DPS) は、製造プロセスデータを透明化し、最適化を可能にします。これにより、デジタル生産ツインを使用したエネルギー管理まで行うことができます。

持続可能性

環境と気候の保護、社会的貢献、そして倫理的な企業経営は、当然のことです。私たちは持続可能な未来への責任を真剣に受け止めています。資源管理と保全に対する私たちのアプローチは、自社の生産プロセスを継続的に改善し、製品のカーボンフットプリントを可能な限り低く抑えることを目指しています。私たちのソリューションは、お客様が自社の環境目標を達成するための支援をします。

ファミリービジネスとグローバルプレイヤー

1961 年に設立されたリタールは、家族経営のフリードヘルム・ロー・グループの中で最大の企業です。このグループは世界中で事業を展開しており、12 以上の生産拠点と 95 以上の国際的な子会社を持っています。従業員は 12,100 人以上で、2023 年度の売上高は 30 億ユーロを記録しました。2023 年、フリードヘルム・ロー・グループは「Best Place to Learn (学びに最適な場所)」と「Employer of the Future (未来の雇用主)」の賞を受賞しました。2024 年には、リタールがドイツの最も革新的な中規模企業の一つとして、3 年連続でトップ 100 シールを授与されました。

詳細については、www.rittal.com および www.friedhelm-loh-group.com をご覧ください。

Corporate Communications

Dr. Carola Hilbrand

Corporate & Brand Communications

Phone: +49 (0)2772/ 505- 2527 35745 Herborn, Germany

hilbrand.c@rittal.de

Rittal GmbH & Co. KG

Auf dem Stützelberg

www.rittal.com